

地域イベント

令和3年3月25日作成
(令和5年3月10日更新)
鳥取県くらしの安心推進課

事業継続のための新型コロナウイルス感染拡大予防対策例

○このガイドラインは、自治会等が主催し地域で行う主に小規模なイベント(以下、「地域イベント」と呼びます)を実施する際の新型コロナウイルス感染予防対策を示しました。

地域イベントの例:各種の会合、花見、納涼祭、盆踊り、運動会、敬老会、文化祭、餅つき等

○地域イベントであっても全国から見物客が見込まれるような場合は、従来の3つのガイドライン(公演イベント・スポーツイベント・販売促進イベント)を参考に対策を行ってください。

イベントガイドラインを含む、県が作成した各種のコロナ対策ガイドラインはこちらのページを参考にしてください

<https://www.pref.tottori.lg.jp/291731.htm>



○イベントにおける新型コロナウイルス感染予防対策についてのご相談は、次の窓口をお願いします。

地区	窓口	電話番号
東部	県庁くらしの安心推進課 (〒680-8570 鳥取市東町一丁目220)	0857-26-7982
中部	中部総合事務所環境建築局 (〒682-0802 倉吉市東巖城町2)	0858-23-3982
西部	西部総合事務所米子保健所 (〒683-0054 米子市糀町一丁目160)	0859-31-9340

参加人数が5,000人超かつ収容率50%超のイベントを開催する場合は、感染防止安全計画の提出が必要です。

※詳しくはホームページをご確認ください。

<https://www.pref.tottori.lg.jp/292741.htm>



1 各場面の共通事項

<マスクの着用> 令和5年3月13日から適用

・マスクの着用は個人の判断に委ねられるものですが、営業者が感染対策上又は事業上の理由等により、利用者又は従業員にマスクの着用を求めることは可能です。

マスクの着用は場面に応じて適切に選択しましょう。

従業員のマスクの着用は、従業員の感染防止とお客様を守ることにもつな갑니다。

マスクの着用を推奨する場面等、店舗の感染対策の内容を掲示しましょう。

<従業員がマスクを着用する場面の例>

- ・一定時間以上の会話や近い距離での接客

<お客様にマスクの着用を推奨する場面の例>

- ・換気が十分にできない場面
- ・混雑した場面
- ・大声を出す場面
- ・重症化リスクの高い方がいる場面 など

2 企画・準備

(1) 会場規模と開催内容

地域イベントの開催にあたっては、会場の広さにあわせてイベントの開催内容を検討したり、例年より広めの会場を選んだりしましょう。飛沫感染を防ぐため、人と人との距離(フィジカルディスタンス)の確保が必要です。

※県内の新型コロナウイルス感染症の流行状況により、イベント開催に制限が設けられる場合があります。イベント開催にあたっては、県やイベント会場の市町村のホームページ等を確認し、開催の是非を判断してください。

(2) イベントの企画

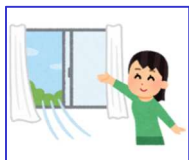
イベントの企画の段階で以下の2や3に記載の新型コロナウイルス感染症対策が実施できるように考慮しながら、従事者の確保、参加者数、開催時間などを検討しましょう。

イベントの企画にあたっては、次のようなことを事前に確認し、具体的な感染対策に取り入れましょう。

- ① 会場の換気設備や窓の配置を確認しましょう
- ② 会場の広さ、参加者の動線を確認しましょう
- ③ 会場が求める新型コロナウイルス感染症対策を理解しましょう
- ④ 開催案内を行う場合は、コロナ対策の実施と実施内容への協力を周知しましょう
- ⑤ 緊急時(体調不良者発生時)の対応方法を決めておきましょう

3 各種イベントに共通する対策

(1) 換気方法(屋内イベントの場合のみ)



- ・ 換気設備を常時稼働したり、定期的に扉や窓を開けるなど、会場全体の換気をしましょう。
 - ▶換気回数や換気時間を予め設定しましょう。
 - ▶空気の流れる吸込口(入口)と吹出口(出口)を意識して空気を入れ替えましょう。
 - ▶扇風機やサーキュレーターで空気の入替えを促進したり、奥まった部分に新鮮な外気を送ったりすることも有効です。
- ・ 準備や片付けの時間は大きく窓を開けるなど、しっかり換気をしましょう。

(2) 消毒



- ・ 施設や会場の出入口等にアルコール消毒液を設置し、参加者に手指消毒を行うように掲示などでお願ひしましょう。
 - ▶手指消毒の代わりに、ハンドソープを使った手洗いも有効です。
 - ・ ドアノブ、水栓、共用する器具等の多くの参加者が触れる部分は定期的に拭き取り清掃・消毒しましょう。
 - ▶消毒薬は用途に応じて適切なものを選び、使用方法も確認しましょう。
- 参考:新型コロナウイルスの消毒・除菌方法について
(厚生労働省・経済産業省・消費者庁特設ページ)



https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/syoudoku_00001.html

(3) 人と人との間隔(フィジカルディスタンス)の確保

- ・ 行列が想定される場所では密集して並ばないように、床にテープを貼る等で目安を示したり、距離をとっていただくよう掲示・声かけをしましょう。
例: 受付、会場入口、トイレ、屋台の前、抽選会場
- ・ 受付では、デジタルチケット等の活用による非接触の入場受付やお客様自身が切ったチケットの半券をスタッフが確認する方法も検討しましょう。
- ・ トイレ前やイベント終了後の出口などで参加者が密集しないように、掲示したり放送などで呼びかけたりしましょう。

(4) 参加者への案内



- ・ 発熱や咳、咽頭痛等の症状のある参加者には来場いただかないよう呼びかけ・掲示を行いましょう。
▶可能であれば、非接触型体温計で参加者に体温測定をお願いしましょう
- ・ 参加者が騒いだり、大声を出したり、過度な飲酒をしないよう呼びかけましょう。
- ・ 想定した集客数を超える入場にならないよう、入場制限も実施しましょう。
- ・ 以上の内容は参加者を募集するポスター、チラシ、回覧文書にも記載し、事前に参加者にお知らせしましょう。

(5) イベント関係者



- ・ 従事者の体調を確認し、発熱や咳、咽頭痛等の症状がある従事者は参加しないように周知しましょう。
- ・ 従事者等、イベント関係者の緊急連絡先を把握しましょう。

(6) その他

- ・ トイレでは、ペーパータオルを設置するか、個人用タオルの利用を促しましょう。ハンドドライヤーを使用する場合は、定期的な清掃や消毒をしましょう。
- ・ 使用後のペーパータオルはゴミ箱に入れて密閉し、ゴミ出しの後には必ず手を洗いましょう。
- ・ 参加者や従事者が休憩や喫煙を行う場合も、距離をとったり対面とならないようにするなど、休憩場所や喫煙場所の利用方法を検討しましょう。

4 イベントの種類に応じた必要な対策例

(1) 受付

- ・ パンフレット等の配布物は手渡しで配布することを避けましょう。

(2) 飲食スペース(会食の会場、屋台の料理を食べる場所など)



- ・ 斜め向かいに椅子を配置したり、対面となる場合はついたて板等を設置するなど、間隔※を確保できる配席にしましょう。
- ・ 席を設けない場合は、間隔※を取っていただくよう掲示したり、床にテープを貼る等で目安を示しましょう。
※家族等の日常生活を共にしている方や日常的に接している少人数の知人等のグループは、間隔の確保は必須ではありません。グループ間の距離をとってください。
- ・ 酒類を提供する場合は、グラスをあわせる乾杯や回し飲み、深酒を控えるよう、事前の案内や掲示などで呼びかけましょう。
- ・ テーブル・椅子等、多くの参加者が触れる部分は定期的に拭き取り清掃・消毒をしましょう。
- ・ 使用済みの容器を会場で捨てる場合は、蓋つきのゴミ箱を設置しましょう。

(3) 講演会・発表会・舞台・ステージ・カラオケ



- ・ 施設内の換気、マスク着用(演出上支障ない限り)を徹底しましょう。
 ▶カラオケ、合唱など、大きな声を出す場合は特に注意してください。
 - ・ ステージと観覧スペースの間は、最低2m(出演者が声を発する場合)を確保しましょう。
 - ・ 出演者同士も演出上支障ない範囲で間隔を確保しましょう。
 - ・ 観覧スペースでは、次のように観客の距離を確保してください。
 ▶応援席(声を出す席)と観覧席(声を出さない席)を分けることも有効です。
- 間隔の取り方
- 固定席の場合:間隔を空けず座って構いません
 - 固定席がない場合:隣の人と接触しない程度の間隔としてください

(4) 屋台・出店・体験コーナー



- ・ 各ブースの前に、参加者が密集しないよう間隔をあけて並べる空間を設け、床にテープを貼る等で目安を示しましょう。
- ・ 金魚すくい、フリーマーケットなどでは、参加者同士が密集しないように入店制限をしたり、掲示や呼びかけを行いましょう。
- ・ 従事者は密集を避けるよう、作業内容(準備、調理、接客、運営、片付け等)を工夫しましょう。
- ・ 接触(マスコット等との記念撮影)や大声での呼びこみ等は控えましょう。
- ・ お金を取り扱う場合は手渡しを避け、トレイに置いて受け渡しましょう。

(5) スポーツ大会・運動会・花見



- ・競技スペースと観覧スペースの間は、最低2m(競技者等が声を発する場合)を確保しましょう。
- ・観覧スペースは、グループ間の間隔を接触しない程度にとりましょう。
 - ▶ お弁当を食べる際は、グループ間を背中合わせにする、会話は控えめにするなど、注意してください。
 - ▶ 花見等の飲酒の場面では、グラスをあわせる乾杯や回し飲み、深酒を控えるよう、事前の案内や掲示などで呼びかけましょう。
- ・トイレや出入口など、密集しやすい場所は間隔をあけていただくように掲示などで呼びかけましょう。

(6) 花火大会



- ・観覧スペースを設ける場合は、入口で入場者の検温・体調確認を行いましょう。
- ・観覧スペースでは、歓声等は控え、拍手などにしましょう。
- ・観覧スペースでは、観覧者同士が触れ合わない程度の間隔を取りましょう。
- ・飲酒は、控えていただくよう事前の案内や場内放送等で呼びかけましょう。
- ・トイレや出入口など、密集しやすい場所は間隔をあけていただくように掲示などで呼びかけましょう。

以上のガイドラインを参考に、新型コロナウイルス感染症対策を行いながら地域の方に楽しんでいただけるイベントとなるよう、イベントの企画、実施をお願いします。